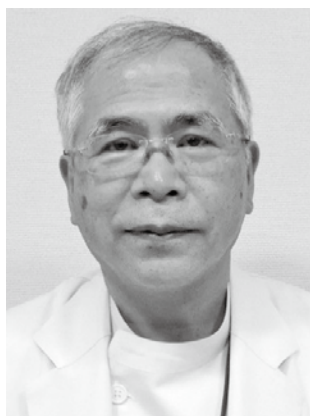


新年のごあいさつ



施設長
須山 和弘



新年あけましておめでとうございます。利用者の皆様ならびに地域の皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。本年も地域に根ざした老人保健施設を目指して、地域の皆様の健康および生活の向上に貢献できるように努めていく所存です。

昨年は、感染症法が変更されて、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類相当へ変更となりました。老健いこいでは、単発のコロナ感染だけで、なんとかクラスターの発生はありませんでしたが、5類相当へ変更後にクラスターが発生してしまいました。利用者の皆様ならびに地域の皆様にも多大なご迷惑をおか

けたかと思えます。なんとか老健いこいの運営ができたのも利用者の皆様ならびに地域の皆様のあたたかいご支援とお力添えの賜物であり、深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更となり、油断したわけではありませんが、今一度初心に返って、基本的な感染予防・感染対策を続けて、利用者の皆様の健康・生活の向上に貢献できるように努めていこうと思っています。この地域も高齢化が進んできており、多くの疾病をかかえて、在宅での生活が困難となるご高齢者が増加しています。ご本人は住み慣れた自宅で過ごしたいと希望されても、なかなか困難な状況があ



新年会 くす玉割り

ります。そういった方々が、住み慣れた自宅でご家族とできるだけ長く過ごすことができるように手助けするのが老健の使命ですので、老健いこいでは、在宅復帰・在宅支援に力を入れています。ご高齢者は、持病が悪化して病院での治療が必要となることもあります。そういった場合には、併設の依田窪病院と連携して治療に当たっています。

今後も老健いこいのモットーである「全人的ケア&全人的リハビリ」を実践して住み慣れた自宅でできるだけ過ごせるよう支援し、在宅に戻った後も、短期入所や通所リハビリを利用していただくことで、ご家族と幸せに過ごせるように手助けしていきたいと思えます。

老健利用者の高齢化に伴い、老健が看取りの場としても重要になり、老健で最期を迎える方も増えてきています。一時的な症状の悪化であれば、病院で医療的処置を受けていただき、回復したらまた老健・ご自宅で過ごしていただくということになります。老健現象がもたらした、いわゆる老衰状態では、病院よりも老健の方が、安らかな尊厳ある最後を迎えることができる場合もあります。そのような場合には、老健にて終末期の対応をさせていただきたいと思っています。だれでも老いることにより心身の機能が低下してきてしまいますが、尊厳ある生活を続けていかれるように職員一丸となつて支援してまいります。

本年も今まで同様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



おたや祭 1月14日・15日
山車 上中町第二場
「甲賀三郎 龍になる」の場

依田窪老人保健施設「いこい」には、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員と多職種が勤務しています。
このコーナーでは、各職種からいろいろな情報を発信します。

○ レク委員としての活動 ○

Bユニット

介護福祉士 小山 奈々

いこいでは、午後のお茶会後にご利用者と一緒に体操やレクリエーションを行っています。

体操の一環として「きよしのズンドコ節」に合わせ独自に考案したいこい体操を行っており、ご利用者も動きを覚え、いこいでは馴染みの体操となっています。

老健では在宅復帰や在宅生活の維持を目標としてリハビリを行っています。普段の生活やリハビリの時には体を動かすことが億劫になってしまう方も、レクリエーションの時にはいつもよりも体が動き、楽しみながら体を動かすことができています。

レク委員会では、レクリエーションが楽しく行えることはご利用者のQOLの向上に繋がると考え、楽しんでレクリエーションに参加でき、同じ内容の繰り返しにならないよう、レパトリーを模索し話し合いを重ねました。

様々な意見が出た中で、一番親しみがありルールも理解しやすいボウリングをレクリエーションに取り入れる事とし、ボウリングのピンはご利用者と一緒に手作りしました。身近にある牛乳パックに新聞紙を丸めて入れて重さを出し、シールやマスキングテープ、折り紙などで飾りつけをすることで個性豊かなものが出来上がりました。難しい部分は職員が担当し、ご利用者の機能に合わせて作業を提供することで、目の不自由な方や手先を使う事が苦手な方でも作業に取り組むことができました。

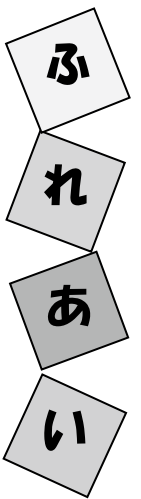
出来上がったピンはボウリングだけでなく、的当ての



的やジェンガになったり、担当する職員によりゲームの内容が変わり活躍しています。ご利用者と一緒にレクリエーションで使用する物品を作るのは初めての試みでしたが、自分たちで作った物が使われている事が嬉しいと話してくれる方もおり、その他の作業やレクリエーション等への活動意欲向上にも繋がっています。

レクリエーション以外にも四季に合わせた作業活動も行っていますが、体に不自由な部分があっても、それぞれの機能を理解し、出来ることをやっていただくことで、達成感や意欲に繋がっていると考えています。

今後も、日々のレクリエーションや作業の内容を検討し、楽しみながら身体や心を動かす機会を増やしていきたいと思ひます。



■新年会（1月10日）

1月10日新年会を行いました。

利用者の皆さんが1年元気で過ごしていただけるよう健康を祈願しての餅つきと辰年生まれの年男・年女の皆さんによる新年を祝ったくす玉割りを行いました。餅つきは、利用者の皆さんが職員と一緒に臼や杵を使って行いました。

「ヨイショ・ヨイショ・ヨイショ・ペタンコ」の大きな掛け声により、きれいなお餅に仕上がりました。



新年会 餅つき

ついたお餅は、入所者の皆さんに振る舞われ、おいしいそうに召し上がっていました。

★編集後記★

あけましておめでとうございます。

11月上旬は季節外れの暖かさとなりましたが、気象庁の長期予報により来月と、12月からの3か月間も全国的に気温が平年より高く、降雪量も少なくなる見込みのようです。困るのがスキー場です。近隣のスキー場では、オープンが遅らせたりし、今でも全面滑走ができないところもあるようです。

(編集委員)